

# 3種目総合2位

## 馬場馬術でまさかの5位



関東学生馬術大会が6月27日から30日までJRA馬事公苑で行われ、専大は障害飛越で3位、馬場馬術で5位、総合馬術（調教、耐久、余力）で2位となり、3種目総合

で2位と惜しくも優勝を逃した。

「人馬ともにピークに仕上げたつもりだったが」と富沢健悟監督が悔しがるように、今大会は専大らしいプレーが出来

たこの競技でまさかの5位となった。そして3、4

日目の総合馬術で2位。関東学生馬術争覇戦（今年5月）で下した明大に優勝の座を明け渡した。

試合後、相田一善主将

（商4・宮城農高）は「馬

場でのミスが非常に苦しかった。次は必ず勝ちます」と悔しさをにじませながら語ってくれた。

（文・写真・山室 綱寛

・文2）

### ▲ 相田 一善主将

なかった。特に2日目の馬場馬術では、ミスを連続し、常に上位を獲得してい